

# 1日町長 別海地区の問題

別海町 総務部総合政策課

# Cグループ

各班のまちづくり物語

# Cグループの ストーリーの基礎

5  
震度7の大地震がくる

起

空いたお店が増えていて、行けるお店が  
少なくなる、たのて、人口が減少している。

あるおばあさんがいて近くの  
お店をたよりにしていた。人口が  
あ

起

大きな地震が起きる。  
冬に停電になってしまった。

起 たくさん<sup>マシ</sup>の人が集まる  
施設が地震によって  
なくなる。宮

小さな町の人口が減少  
して病院やスーパーがなくな  
ってしまった。高齢者の方は  
遠い町に行かなくては  
ならない。

おげえ大雪がくる

魚がなくなるぐらい、海が汚れる

魚などの食べ物  
がなくなる。

③ びなん場所が限られて  
てしま、人口が△る。



食料不足



④ 国に支えん金を  
もらおうとするが、  
人口が少ないため、  
もらえない。

他の地域からの負担金



⑤ 町のお金が入って  
いって食料が  
ほとんどない



一人あたりの食料が無い!



おじいちゃんがいたい  
病院どうしよう~  
「おばあちゃん」



除雪を広い範囲を

救援  
隣の町から食料や色々  
くれた

おばあちゃんのお腹を  
なおすために、となり町  
の医者がきてなおして  
もらう

修理しに  
行く!

今ある物を使って家をたてる

みんなで協力して  
家を仮める程度の  
仮設 ~~を~~ 建てた

農業再開

牛乳を売った

海をきれい!

活発にして。  
ほかの町から  
出稼ぎに来る。

海を  
きれいに!

漁業再開

大日も

お金も(増)  
か

もともとやっていった夫  
住んでいい人  
若い人  
もどってくる

必要最低限の建物物を  
建てる!! (スーパ)

避難所をつくる。  
訓練をやる!

その建物物を耐震性にする

次に災害が起きた時  
のために  
しせつを建てなおした。

お年寄り、しょうがい者にも  
やさしくなるような町になった!

こねえ! おばあちゃん  
ハッピー!

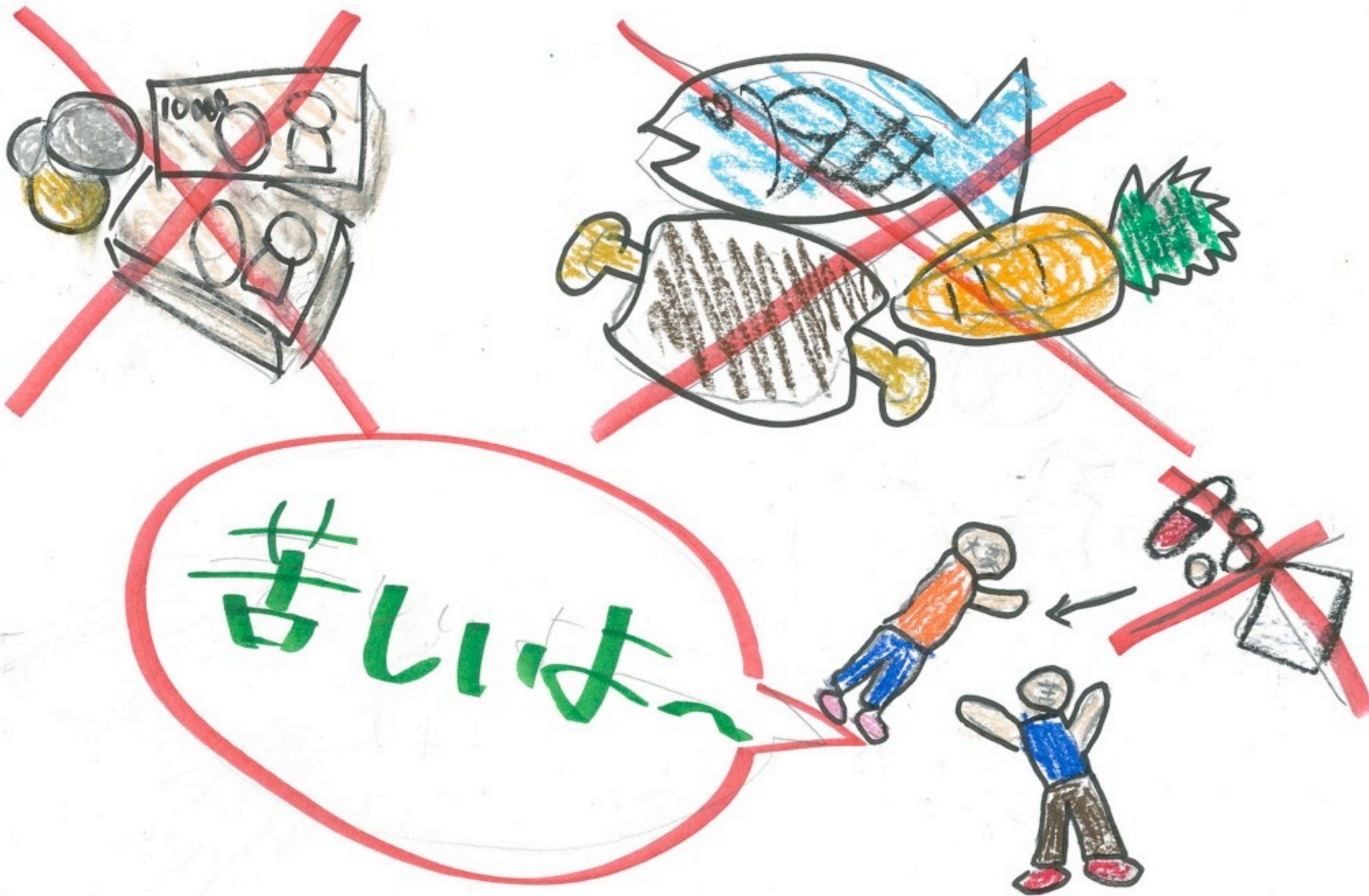
おばあちゃんか  
住みやすい町を  
目指して  
進んでいく!  
という目標を持った。



# Cグループの おはなし



起 ある小さな町におばあさんがいました。おばあさんが頼りにしていた店がありました。しかし、  
どんどん人口が減っていき、その店がなくなり遠い町まで買い物に行かなくてはならなくなりました。  
そんな時、震度5の大地震がおき、停電になってしまいました。さらに、避難場所が災害によって  
限られ、海も汚れ魚などの食べ物もなくなっていきました。



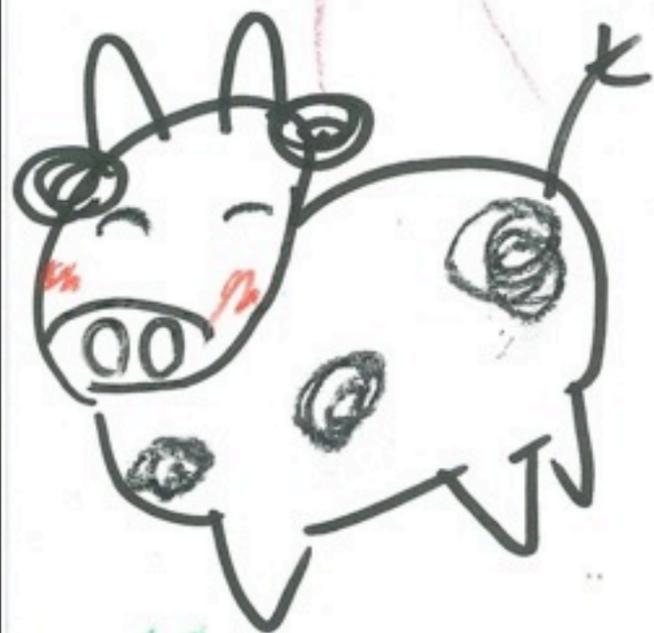
承 避難場所が限られてしまい、食料不足になってしまった。国に支援金を貰おうとするが、人口が少ないため貰えない。ほかの地域からの負担金を貰いましたが、使い切ってしまう、食料もほとんどなくなってしまいました。栄養失調のため、お腹が痛い人がたくさんいましたが、病院もないままです。若い人達は、みんな他の町に行ってしまう人口はもっと減りました。



転　そこで!!町長さんが除雪を呼びかけました。更に隣町から食料を貰いました。町民で町を修理して、今ある物を使って、仮設住宅を建て。農業を再開しました。別海町の自慢の牛乳で別海町を建て直す!!海もきれいにして漁業も再開です!!

Happy end

スーパ



結 この町に元々住んでいた若い人もが戻ってきて、お金も増えていきました。そのお金を使って必要最小限の建物を建てました。そして、次の災害が起きた時のために施設を建て直したり、避難場所をつくって訓練をやったりしていきました。お年寄りや障害者にやさしくできて、住みやすい町を目指して進んでいきました。